

## ESG 投資ポリシー

### 1. ESG 投資ポリシー概観

当社は、顧客の長期的な資産形成における財務リターンの達成に寄与することが私たちの責務の中心であると同時に、投資を通じて持続可能で豊かな社会の実現にも貢献することができると信じています。また、投資家の長期的投資パフォーマンスの向上を実現する上で、環境、社会、ガバナンス（“ESG”）要素を投資およびリスク管理プロセスに組み込むことは極めて重要であると考えます。当社による投資は第三者が運用するファンドに対して行われるため、当社の ESG 投資ポリシーは基本的にそれらのファンドとその運用者に対して適用し、その投資哲学を当社が選別することによって、間接的ではあるものの、投資先企業が行う事業の活動の幅を広げると共に、社会に有益な影響を与えることに貢献できると考えています。

私たちの ESG 投資ポリシーは、次のことに基づいています。

経済的投資パフォーマンスの追求と ESG への取り組みとは長期的には競合するものではなく、ESG 基準を的確に盛り込んで運用されているポートフォリオは、長期的にはそうでないものを上回るパフォーマンスを上げる。

当社は持続可能で豊かな社会の実現に向けた国内外の様々なイニシアティブの考え方に共感しており、今後段階的に UN PRI を始めとした複数のイニシアティブに署名・参画等することを目指しています。

近年は、ESG 情報に関する開示基準や ESG 投資ガイダンス等に関し、一層の進化や統一基準の策定に向けた取り組みがグローバルで加速しています。当社は、進化し続けるそれらの基準等に沿う形で、環境、社会、ガバナンスに関し、高い基準を持って行われた投資は、投資家に長期に渡る付加価値をもたらすと共に、環境や社会にポジティブな影響を与えることができると信じています。

同時に、社会全体のサステナビリティへのネガティブな影響を可能な限り最小化することを目指し、気候変動、環境悪化、および社会的損害等から生じる財務的リスクを評価し、その結果を投資の意思決定プロセスに組み込みます。

当社は、包括的な ESG 評価に特にフォーカスしていますが、併せて個別具体的な活動にも ESG 基準を適用します。人道的および気候変動抑制の観点から投資対象を選別しています。

## 2. ESG 分析の方法及びアプローチ

当社による投資の大部分は、外部運用者が運用するコミングルド・ファンド経由で行われます。従って、投資対象ファンドに対して当社が行う ESG 分析は、入手可能な情報の質と量に大きく依存することになります。

また、当社の ESG 分析のアプローチは、特定の投資案件やファンドの運用者に対する当社の影響力の程度によって大きく異なることになります。

そうした制約を前提に、運用者の ESG ポリシーやその実際の行動について運用者と対話することによって、長期的な投資リターンの保全、並びに持続可能で豊かな社会の実現に寄与したいと考えています。

当社は、投資対象ファンドの運用者の ESG ポリシー、ポートフォリオの ESG 特性についてはもとより、可能な限り、それらのファンドが投資する先の企業等に関する ESG 関連情報の収集・分析にも努めます。

また、それらの情報を元にした ESG 評価を投資の意思決定およびリスク管理プロセスに組み込むことによって、投資実行時点のみならず、投資期間終了に至るまでの間、ESG 関連情報を継続的にモニターします。

当社の ESG 分析では、以下の点を重点的に確認します。

- 運用者が ESG に関連するリスクと投資機会を管理する能力
  - ― 投資手法、投資戦略の内容のみならず、経営トップ層のコミットメント、リスク管理・ガバナンス体制、その他 ESG に関連する要素を考慮します。

なお、投資対象ファンドが投資する先の企業等についても、当該企業等の所在地、セクター、ビジネス・モデル、顧客、その他 ESG に関連する要素を、入手可能な情報の範囲内で考慮します。

ESG に関する評価プロセスとしては、まず、外部機関等からの ESG に関する重大性についての基礎的情報を確認の上、スクリーニングに活用します。次に、デュー・ディリジェンスの段階に進んだファンドについて、ESG に関する確認を行います。確認項目は、法規制、ガイドライン等の他、UN PRI の 6 原則、UN PRI Infrastructure Investor および UN PRI Private Debt Investor 向けの ESG Due Diligence Questionnaire 等を参考に構成されています。

確認にあたっては、運用者の ESG 戦略への理解に努めると共に、ESG に関するリスクおよび投資機会が運用会社の投資哲学、ビジネス、とりわけ投資プロセスの中でどの様に融合し、管理されているのかに注目します。

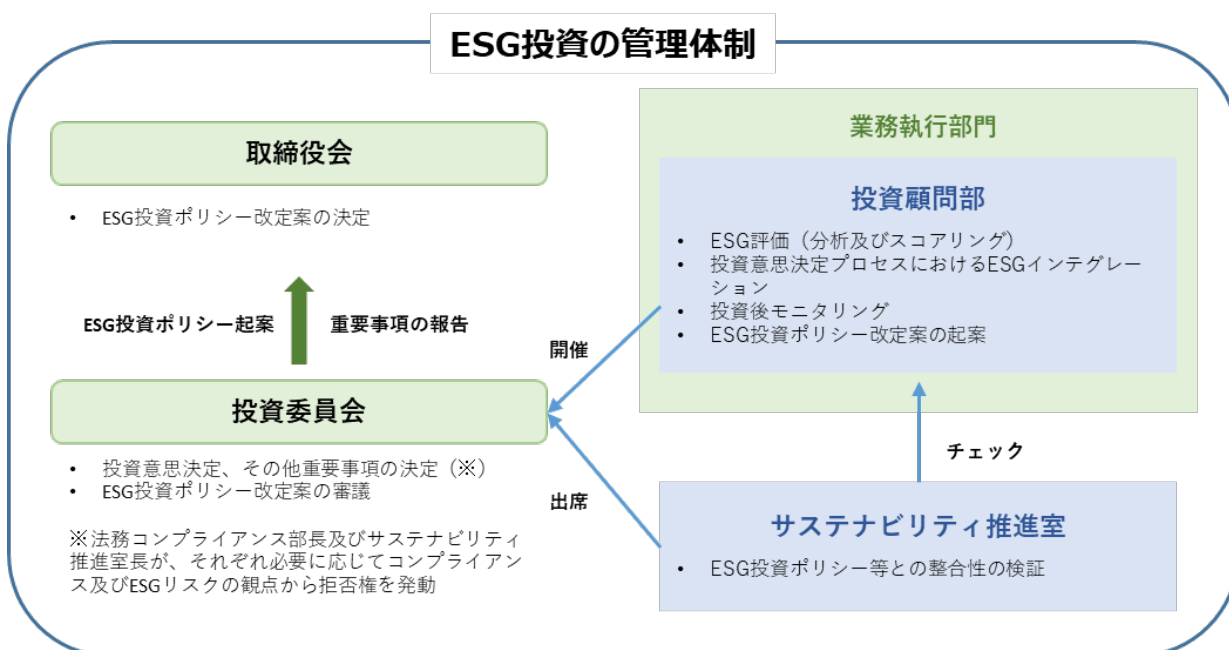


運用者および投資対象とするファンドには、1 から 4 のスコア（1=不十分、2=要改善、3=標準、4=良好）を付します。当該 ESG スコアは、ESG 関連以外の項目も含めた総合評価に影響します。なお、ESG スコアが 1 の運用者やファンドは、投資対象から除外されることとなります。このスコアは、投資実行後の継続的モニタリングを通じて、随時更新されます。

投資実行後にスコアが低下した運用者やファンドについては、可能な範囲内で、より頻繁かつ詳細にモニターし、運用者に対して改善を働き掛けていきます。そして、スコア状況について運用者と会話を継続し、時間の経過と共にスコアが改善することで、当社の投資家の資産価値が向上するものと期待しています。

さらに、運用者および投資ファンドのスコアについては、定期的に投資委員会に対して報告すると共に、スコアが低下した場合には、速やかに投資家に対して状況および今後の対応策等を報告します。

### 3. ESG 投資の管理体制



サステナビリティ推進室長は投資委員会に出席し、新規投資案件につき ESG の見地から適否を判断、既存投資案件につき ESG 投資ポリシー準拠状況を確認した上で、必要に応じて拒否権を発動します。投資済み案件については、投資委員会が ESG 投資ポリシーに準拠していることを確認し、その結果を定期的に取り締役にに対して報告します。

以上